

# 錫の鍛金ワークショップ体験記



「mikusoundmetal」さんの箱崎のアトリエで鍛金体験してきました！金属をハンマー（金槌）で打つことでカタチを作り出す技法を「鍛金」といいます。鍛冶（かじ）ともいいます。今回は柔らかく伸ばしやすく、初めて鍛金を体験する人にちょうどよい錫（すず）のインゴットをトンテンカンテンと叩いて、豆皿、アクセサリートレイを作りました。アトリエには見たことのない道具がたくさん。大小さまざまなハンマーをはじめ、鉄床（かなどこ）あるいはアンビルと呼ばれる重たそうな金属加工用の作業台などが置いてあり、気になってきよきよ。さて、miku先生から

簡単な説明があって、早速叩いていきます。作業台の上に錫のインゴットがいくつか用意されていました。叩き方にもよりますが、選んだインゴットのカタチが最終のカタチにも影響してくるので、好みのカタチを選びましょう。先生のレクチャーを受けてから、叩き始めます。ケガだけはしないように、ハンマーの振り下ろす先をしっかりと見て叩いていくと、錫が伸びていくのが分かります。いろいろなハンマーを使ってみて、自分に使いやすいハンマーを選ぶといいですよ。トントントン、カンカンカン、とりズミカルに叩く音が響きます。あ、これ楽しい。叩く人によって個性が出るのも面白いです。ある程度錫が伸びてきたところで、私はお皿じゃなくて器にしたかったので、丸みをつけていきます。丸くくりぬいてある木型を使い、型に添わせるようにゆっくりゆっくり叩いていくと、平べったかった錫が丸みを帯びてきました。ふふふ、いい感じ。おしゃべりしながら1時間ほど叩くとそれぞれの思ったカタチができあがってきました。座りがいいように裏面を調整したりなどして、2時間かからずに出来上がりました！今回はアクセサリートレイを作りましたが、錫は抗菌作用があるので食器を作るのもおすすめです。文字入れもできますよ。金属を加工できるという楽しさにハマってしまったので、私はすでに二回目を予約しました。次はおちょこを作るぞ～！



12月の開催日は、25日(日)、1月は22(日)と30(月)です。時間は14時から。お申し込みは「mikusoundmetal」さんのブースに直接か、HPのフォームからお待ちしています！

※1/27(金)-1/29(日)の13-19時、ハコ町屋で個展「鳴らし展」を開催です。



令和4年12月17日発行  
発行人：合同会社ハコイチ



錫の鍛金WS

## 錫の鍛金ワークショップのご案内



「mikusoundmetal」さんの工房で、鍛金やってみませんか？金づちで錫のインゴットを叩いてとんとん伸ばして、豆皿やトレーなど好きなカタチの作品を作れます。無心に叩い

てもよし、意志をもって叩くのもよし。叩くのは楽しくて、気持ちいいですよ！

1～3名の少人数で、東北芸工大で金属工芸を学んだ「Sound metal art」主宰の小林未来(みく)さんが講師です。費用はおひとり4,000円です。



## M井さんにマイくちびるをオーダーしちゃおう

くちびる作家の「M井」さんにくちびるオーダーできるって知ってました？対面イベントでも、SNSのDMからでも気楽にオーダーできちゃうんです。まずは基本の①カラー、②歯のカタチ、③口の中の種類を選ぶでしょ。それから名入れとかくちびり付けたりとかよだれだらりしたりとか、ドットてんてんにしたりもできます。ぷっくりつやつやのマイくちびるちゃんが届くと嬉しいですよ～！